

第1学年 生活科学学習指導案(略案)				
令和6年10月1日(火)4校時			場所:1年教室	
単元名『いきものとなかよし』(総時数9時間)				
ねらい	自分が飼育、観察したい生き物について、本を読んで初めてしたことや驚いたことを見つけ、友だちに話すことができる。			
学校図書館活用のポイント (ねらいとの関連をふまえて)	＊自分の興味のある虫について情報の収集・整理ができるように、学校司書との連携を図る。			
展開	めあて:ほんから、〇〇(虫)のひみつをみつけよう。 ①学習の見通しをもつ。 ②本時で使う本や、調べ方を確かめる。(司書教諭) ③本を読んで、紹介したいことに付箋をつける。 ④分かったことを友だちに紹介する。 ⑤ふりかえりをする。		★学校図書館との関わり 学校司書との『〇〇タイム』 ②本の紹介をしたり、もくじや索引の使い方や、本の見方を確認したりすることで学習の見通しがもてるようにする。 ③調べるのに活用する本をすすめたり、本の見方を一緒に確認してもらったりする。	
めざす児童・学習集団の姿	低学年	中学年	高学年	
①学習の楽しさを感じている児童	◇教科の本質を楽しみ、達成感や気持ちよさなどの「やりがい」を感じる児童 ◇学びを生活や学習に楽しみながら活かそうとする児童			
②自分と周りを大切にしながら自らを高めようとする児童	◇自分の考えをもって取り組む	◇「問い」や「自分の考え」をもつ ◇自分で選んで決めたことに向かって、試行錯誤しながら取り組む	◇「問い」をもったり「自分の考え」を練り直したりする ◇自ら学びを選び、学びをデザインし、自身の学びが最適になるように調整する	
③自分と周りを大切にしながら仲間と共に高めようとする児童	◇自分の考えを伝えたり、仲間の考えを聞いたりしながら取り組む	◇自分の考えを伝えたり、仲間の表現に質問したりしながら取り組む	◇自分の考えを伝えたり、仲間の表現に質問し発展させたりしながら取り組む	
重点(☑を入れる)	研究の視点		A:子どもの姿 B:教科等のねらい	
☑	① 教科等の『楽しさ』をあげよう ☆ねらいを明確にし、子どもの知的好奇心や感情を揺さぶり『わくわく』を大切に学習計画をつくる		A ————— B	
□	2 自分を見つめる『楽しさ』 ☆試行錯誤する場を大切に、学びのよさを子どもと共有する		A ————— B	
□	3 仲間との『楽しさ』 ☆考える視点を明確にし、子どもの表現と表現をつなぐ学習をデザインする		A ————— B	

